

# 長野市総合計画審議会作業部会 会議概要（報告）

会議名	市民フォーラム21 第6回 保健・福祉部会
日時	平成23年1月21日（金）午後1時から午後2時30分
会場	長野市役所第一庁舎 8階 第1委員会室
出席者	作業部会員 （敬称略）
	関係課員

## I 会議次第

- 1 開 会
- 2 部会長あいさつ
- 3 市民フォーラム21 第5回 保健・福祉部会 会議概要について 別添資料
- 4 第四次長野市総合計画 後期基本計画大綱（案）【保健・福祉分野】について
  - (1) 第四次長野市総合計画 後期基本計画の体系（案）
    - 1 健やかに暮らし認め合い支え合うまち【保健・福祉分野】 <<資料1>>
    - (2) 政策1-1 安心して子育て・子育てができる環境の整備
      - 111 子育て・子育て環境の整備 <<資料2>>
    - (3) 政策1-2 生きがいのある豊かな高齢社会の形成
      - 121 高齢者福祉サービスの充実 <<資料3>>
      - 122 高齢者の社会参加の促進 <<資料4>>
    - (4) 政策1-3 自分らしく生きられる社会の形成
      - 131 障害者（児）福祉の充実 <<資料5>>
      - 132 地域福祉社会の実現 <<資料6>>
    - (5) 政策1-4 安心して暮らせる生涯健康づくりの推進
      - 141 保健衛生の充実 <<資料7>>
      - 142 地域医療体制の充実 <<資料8>>
    - (6) 政策1-5 人権を尊ぶ明るい社会の形成
      - 151 人権尊重社会の実現 <<資料9>>
      - 152 男女共同参画社会の実現 <<資料10>>
  - 5 今後の予定について
  - 6 閉 会

## II 会議の概要（主な決定事項、質疑等）

- 4 第四次長野市総合計画 後期基本計画大綱（案）【保健・福祉分野】について
  - (1) 第四次長野市総合計画 後期基本計画の体系（案）
 

資料1のとおりまとめることで確認した。

## (2) 政策1-1 安心して子育て・子育てができる環境の整備

### 111 子育て・子育て環境の整備

① 数字の間違いか確認したい。現況と課題の平成12年の出生数が、前期計画に記載されている数字と異なっている。

⇒合併により、旧信州新町と旧中条村の出生数の数字を加えているものである。

② 小児科医と産婦人科医の長野市内の状況はどうなっているか。これまでの作業部会では議論になかったが、実態により、市で検討する必要があるのではないか。

⇒日本中で小児科医・産婦人科医の不足が課題となっている。長野市内では、現在深刻に不足であるという状況ではないと考える。ただ、新規のなり手が無く、現開業医の高齢化等により、将来的に厳しくなることを心配している。

⇒非常に難しい問題であるが、市町村レベルでは取り組める課題ではないのではないか。産科や小児科の診療科目を選択する医学生が少なく、産科医裁判の影響で産科をやめる医師が増えている状況がある。医学生の進路を導くなどという政策は困難ではないか。

⇒総合計画上では、「地域医療体制の充実」に係る内容である。市町村行政としての取り組みではなく、国・県レベルとなってくる。長野市として、安心して受診できる医療という中で検討できるかである。

⇒医療機関等の尽力もあり、具体的に市民からの相談・意見は無い。県全体、医療圏の中で検討する今後の課題である。

③現況と課題の三つ目であるが、子どもを預けて仕事を両立させるといった大人の視点のみで書かれている。学級崩壊等が社会問題となっているが、地域・社会の中で、子どもをどう育てていくかという視点が必要ではないか。

⇒意見のとおり、子どもをどのように育てていくかという視点を加える。

⇒具体的には、「安心して子どもを預け、仕事と子育ての両立が出来る環境」という大人の視点の後に、例えば「子どもが心身ともに健康で充実した子ども時代を送れる環境」というような子どもの視点を加えるということではどうか。

⇒意見を参考に、子どもが健やかに育っていくというような視点を加え、表現について後日資料を送付する。

## (3) 政策1-2 生きがいのある豊かな高齢社会の形成

### 121 高齢者福祉サービスの充実

### 122 高齢者の社会参加の促進

## (4) 政策1-3 自分らしく生きられる社会の形成

### 131 障害者(児)福祉の充実

①「早期療育体制・教育の充実」の主な取組(参考)で記述している障害の発生子防について、どういったものを想定しているのか。

⇒新生児において適正な検査を早期に実施すれば、特に内臓疾患など障害を抑えられる事例があるのではないか。

⇒周産期というよりは出産後の乳幼児健診において、発達障害などを早期に発見することによって対応し障害を予防するといった意味もあり、記述しておいて問題はないのではないか。

⇒主な取組の検討時に分かりやすい表現にするなど詳細な協議をすることとしたい。

### 132 地域福祉社会の実現

①方針の表現について、主語がはっきりしないと分かりにくいので、誰が行うのか入れたほうが良い。

⇒「地域に暮らす一人ひとりが」という言葉を追加し、主語をはっきりさせることとしたい。

### (5) 政策1-4 安心して暮らせる生涯健康づくりの推進

#### 141 保健衛生の充実

#### 142 地域医療体制の充実

### (6) 政策1-5 人権を尊ぶ明るい社会の形成

#### 151 人権尊重社会の実現

①人権教育について、前期計画には記載が無かったが今回は同和問題の記載が加わった。同和教育は人権教育全体の中に入っているという考え方も多いが、同和教育を特化して追加した理由・状況を教えてほしい。

⇒長野市では、人権同和教育の中で部落差別の問題を重要な柱と考えている。学校教育においても市立小中学校全校を人権同和教育研究指定校として人権同和教育・啓発に取り組んでいる。

#### 152 男女共同参画社会の実現

②取り組み(参考)にDVに関する記述があるが、男女共同参画だけでなく他の施策でも取り上げる必要があるのではないか。

⇒DVについて、相談を受けているのは、男女共同参画推進課ではなく保育家庭支援課であり、実際の対応は連携して行っているものである。前期計画では「女性に対する暴力の根絶」についてということで、主な取組で関連を記載している。

主な取組については大綱決定後に検討するので、関連についてもそこで検討することとしたい。

⇒総合計画であるので、一施策が複数課に渡ることも多い。女性に対する暴力と子ども、母子に対する暴力というのは現実的には切り離せない。状況に合わせてそれぞれの担当課で対応している。

上記のとおり、第四次長野市総合計画 後期基本計画大綱(案)【保健・福祉分野】については、(2)から(6)まで協議した上で、事務局からの提案を一部修正の上、決定することとした。